

事例の種類・名称	事例の種類	事例の名称																		
	【広域連携】	山口県内における1市4町2企業団による柳井地域水道事業の広域化																		
事業規模等	給水人口 : 55,399 人 1日最大給水量 : 24,965 m ³ /日 各水道事業の1日最大給水量を単純加算しています。 給水面積 : 53.96 km ² 職員数 : 【直営】 34 人【第三者委託】 16 人【委託】 92 人 ※数字は、令和6年4月1日時点																			
スキーム等																				
経緯	<p>柳井地域1市4町及び2企業団(柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町、田布施・平生水道企業団及び柳井地域広域水道企業団)は、平成29年6月30日に「柳井地域水道事業広域化検討委員会」を立ち上げ、水道事業の広域連携を進め、水道事業の広域化について検討してまいりました。検討委員会では、水道メーターの共同発注や水道料金窓口業務の共同化(柳井市、周防大島町)などの広域連携を進め、経費の削減に努めてきました。さらに広域化を進めるため、令和6年1月30日に柳井地域広域水道企業団に経営統合することとした基本協定を調印し、現在、令和7年4月1日の経営統合に向けて準備を進めています。</p>																			
広域連携のメリット	<p>経営統合により組織力を高めることにより、水道事業の専門知識の継承や危機管理体制の強化が図られ、老朽化対策や耐震化対策などの施設整備についても計画的な整備を行うことができる。今後10年間で、国交付金の活用による負担減や維持管理費の削減で4億7,000万円の効果が見込まれる。</p>																			
広域連携のデメリット	<p>①これまでの課題 …人口減少等に伴う水需要と給水収益の減少により水道経営は大幅な悪化が見込まれる。施設の老朽化対策や基幹管路の耐震化を行う必要がある。水道の専門知識等を有する人材の育成や技術の継承が課題となっている。</p> <p>②今後想定される課題 …会計システムや料金システムの統一や異なる水道料金体系の統一が課題となる。</p>																			
業務形態	<p>水道用水供給事業並びに柳井市水道事業、柳井市平郡簡易水道事業、周防大島町水道事業、上関町統合簡易水道事業、上関町祝島簡易水道事業、上関町八島簡易水道事業及び田布施・平生水道事業の経営統合</p>																			
対象業務(維持管理体制)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="6">経営・計画、管理(総務・人事・財務)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">営業</td> <td colspan="2">維持管理(運転・保全)</td> <td colspan="1">更新等(設計・建設等)</td> </tr> <tr> <td>窓口</td> <td colspan="2">検針・料金徴収等</td> <td>施設</td> <td>管路</td> <td>施設 管路</td> </tr> </table> <p>※「窓口」「検針・料金徴収等」は事業ごとに直営、共同委託及び委託があります。 ※「維持管理(運転・保全)」は基本的に共同化等を行いますが一部委託を含みます。</p>		経営・計画、管理(総務・人事・財務)						営業			維持管理(運転・保全)		更新等(設計・建設等)	窓口	検針・料金徴収等		施設	管路	施設 管路
経営・計画、管理(総務・人事・財務)																				
営業			維持管理(運転・保全)		更新等(設計・建設等)															
窓口	検針・料金徴収等		施設	管路	施設 管路															
浄水施設維持管理	<p>日積浄水場運転管理業務(委託) (委託先:株式会社ウオーターエージェンシー、複数年(5年間)契約) 田布施浄水場運転管理業務(第三者委託) (委託先:住友重機械エンバイロメント株式会社、複数年(2年間)契約) 簡易水道事業浄水施設管理業務(直営)</p>																			